

# 子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

令和6年1月24日

報告事項件名	頁
(教育指導部) なし	
(学校運営部) なし	
(子ども家庭部)	
(1) 幼保連携型認定こども園の現状と今後の方針について	2
(2) 足立区子ども施設指定管理者の評価結果について	5
(3) 区立保育園・こども園における小破修繕の実績について	10
(4) 区立園における「園運営に関する保護者アンケート」の実施結果について	12
(5) 足立区待機児童解消アクション・プランの改定について	18
(6) 保育士奨学金返済支援事業補助金の制度改正について	21
(7) 令和6年4月保育施設利用申込受付状況及び保育コンシェルジュ利用状況について	22

( 教育委員会 )

件名	<b>幼保連携型認定こども園の現状と今後の方針について</b>										
所管部課名	子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課										
内容	<p>幼保連携型認定こども園2園（元宿こども園・鹿浜こども園）の現状と今後の方針について報告する。</p> <p><b>1 認定こども園を設置した目的</b>          以下3点を目的とし、区立幼稚園と区立保育園による区立認定こども園を平成24年度に開設した。          (1) 幼稚園と保育園の機能統合          (2) 幼児教育から小学校教育への滑らかな接続          (3) 保育ニーズ等に応じた保育定員の確保を図る。</p> <p><b>【区立認定こども園】</b></p> <table border="1" data-bbox="427 954 1385 1205"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>類型</th> <th>人事制度の見直し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元宿こども園 第一・第二園舎</td> <td rowspan="2">幼保連携型</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>鹿浜こども園 第一・第二園舎</td> </tr> <tr> <td>おおやたこども園</td> <td>保育所型</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 幼保連携型：幼稚園と保育所を合わせて単一の施設とした認定こども園          ※ 保育所型：認可保育所が、幼稚園的な機能も果たしている認定こども園  <u>なお、保育内容や保育時間等について幼保連携型との差異はない</u></p> <p><b>2 幼保連携型認定こども園の現状</b>          以下の理由から、幼保連携型認定こども園の今後について検討する必要がある。          (1) 両園とも、建築から40年以上が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。          (2) 特に元宿こども園の在園児童は年々減少しており、早急に、閉園、縮小を含めた今後の方針を決定する必要がある。          (3) 令和7年4月から <u>幼保連携型認定こども園には、園長として管理職の配置（特別区申合せ事項）、教職員は保育士と幼稚園教諭の資格を有する保育教諭の配置（認定こども園法の改正）</u>が必要となる。</p>	園名	類型	人事制度の見直し	元宿こども園 第一・第二園舎	幼保連携型	有	鹿浜こども園 第一・第二園舎	おおやたこども園	保育所型	無
園名	類型	人事制度の見直し									
元宿こども園 第一・第二園舎	幼保連携型	有									
鹿浜こども園 第一・第二園舎											
おおやたこども園	保育所型	無									

### 3 今後の方針

#### (1) 元宿こども園

園児数の今後の見通し等により、令和7年度から園舎を保育所機能を有する第二園舎に統合し、定員を縮小した上で、認定こども園として運営を継続する。

保育所で幼稚園児の受入れを行うことになるため、類型が「幼保連携型」から「保育所型」に変更となり、園長としての管理職及び保育教諭の配置が不要となる。

ただし、千住大橋駅前の大規模集合住宅完成後（令和7年度予定）も園児数の減少が止まらない場合は、閉園を検討する。

※ 第二園舎については、過去に1歳児から5歳児まで保育を実施していたこともあり、第一園舎の園児（4、5歳）を受入れるための保育室がすでに確保できている。

一方で、第一園舎は元が幼稚園のため、1歳～3歳の保育室を改めて用意しなくてはならないことと、幼稚園が母体のこども園になるため、幼稚園教諭の配置が必要となる。

上記を踏まえ、元宿こども園は第二園舎に統合する。



#### 【参考】

築年（築年数）

第一園舎：1969年（54年）

第二園舎：1971年（52年）

園児数の推移

	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
園児数 (定員 148 名)	83 名	66 名	44 名	31 名
入所率	56%	45%	30%	21%

年齢別の園児数（令和5年4月時点）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	15名	18名	20名	47名 (25名)	48名 (25名)	148名 (50名)
園児数	1名	5名	5名	8名 (2名)	12名 (2名)	31名 (4名)
	【第二園舎】11名			【第一園舎】20名		

( ) は短時間の定員・園児数

(2) 鹿浜こども園

周辺の保育需要は高く、また、「幼保連携型」から「保育所型」に変更するには、第一園舎の用途を幼稚園から保育所に変更するための改修工事が必要となり、時間と経費がかかることから、**令和7年度以降についても「幼保連携型」認定こども園として当面の間、継続する。**

【参考】

築年（築年数）

第一園舎：1978年（45年）

第二園舎：1972年（51年）

園児数の推移

	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
園児数 (定員146名)	96名	81名	73名	86名
入所率	66%	55%	50%	59%

年齢別の園児数（令和5年4月時点）

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	10名	14名	22名	50名 (25名)	50名 (25名)	146名 (50名)
園児数	2名	14名	20名	24名 (4名)	26名 (3名)	86名 (7名)
	【第二園舎】36名			【第一園舎】50名		

( ) は短時間の定員・園児数

4 今後のスケジュール（案）

令和6年2月 元宿こども園の保護者に対して方針の説明

令和6年4月～ 元宿こども園第二園舎の施設整備

令和7年1月 足立区立認定こども園条例の改正

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和5年1月24日

件名	足立区子ども施設指定管理者の評価結果について																		
所管部課名	子ども家庭部子ども施設運営課																		
内容	<p>子ども施設指定管理者16施設の令和4年度業務について、足立区子ども施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、報告する。</p> <p><b>1 開催日時・会場</b>          令和5年10月24日（火）          午後2時から午後4時30分まで          本庁舎南館12階 1205A会議室</p> <p><b>2 主な業務内容</b>          (1) 保育事業の実施に係る業務          (2) 施設の維持管理に関する業務</p> <p><b>3 評価対象期間</b>          令和4年4月1日～令和5年3月31日</p> <p><b>4 評価委員会委員構成（計6名）</b></p> <table border="1" data-bbox="443 1272 1385 1729"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>氏名</th> <th>役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学識 経験者</td> <td>田代 恵美子</td> <td>日本体育大学児童スポーツ教育学部 非常勤講師</td> </tr> <tr> <td>柴田 幸基</td> <td>公認会計士・税理士</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関係団体 代表</td> <td>堀口 幸子</td> <td>足立区民生・児童委員</td> </tr> <tr> <td>松崎 顕治</td> <td>足立区青少年委員</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区職員</td> <td>岩松 朋子</td> <td>教育指導部長</td> </tr> <tr> <td>上遠野 葉子</td> <td>子ども家庭部長</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>5 評価方法</b>          (1) 担当課評価          提出資料の内容確認、指定管理者へのヒアリング、現地調査          (2) 評価委員会評価          提出資料の評価</p>	種別	氏名	役職等	学識 経験者	田代 恵美子	日本体育大学児童スポーツ教育学部 非常勤講師	柴田 幸基	公認会計士・税理士	関係団体 代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員	松崎 顕治	足立区青少年委員	区職員	岩松 朋子	教育指導部長	上遠野 葉子	子ども家庭部長
種別	氏名	役職等																	
学識 経験者	田代 恵美子	日本体育大学児童スポーツ教育学部 非常勤講師																	
	柴田 幸基	公認会計士・税理士																	
関係団体 代表	堀口 幸子	足立区民生・児童委員																	
	松崎 顕治	足立区青少年委員																	
区職員	岩松 朋子	教育指導部長																	
	上遠野 葉子	子ども家庭部長																	

## 6 令和5年度評価内容の改定について

令和4年度の評価委員会において委員からいただいたご意見を踏まえて、以下のとおり改定を行った。

### (1) 採点基準

各項目について加点・減点項目を可能な限り細かく挙げ、評価を受ける側である指定管理者にとっても採点が明確になるように変更した。

#### 【例・修正前】

番	確認項目名	採点基準
20	全体的な計画の策定・指導計画の作成	全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している。 ① 長時間にわたる保育について、配慮や関係者との連携について指導計画に位置づけている。 ② その他特に工夫した取り組みがある。
		3歳未満児について、個別な指導計画を作成している。 ① 特に工夫した取り組みがある。 ② 十分な内容である。

#### 【例・修正後】

番	確認項目名	採点基準
20	全体的な計画・指導計画の作成	全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している。 ① 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している。 ② 全体的な計画は、施設の理念・方針・目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう作成している。 ③ 長期的な計画（年・期・月）は、子どもの発達や地域特性をとらえて作成している。 ④ 短期的な計画（週・日）は具体的な日々の生活に即して作成している。 ⑤ 全体的な計画や指導計画の作成に対し特に工夫ある取組を行っている。 【①→3点、②③④→1点加点、⑤→1点加点（②③④がない場合は加点しない） ※ 不備がある場合減点あり】
		3歳未満児について、個別指導計画を作成している。 ① 個別指導計画を作成している（0・1・2歳児） ② 個別指導計画は一人ひとりの子どもの発達や家庭環境を踏まえて作成している。 ③ 個別指導計画の作成について特に工夫ある取組を行っている。 【①→3点 ※ 不備がある場合減点あり、②→1点加点、③→1点加点（②がない場合は加点しない）】

### (2) 施設・設備等の保守点検

「不良箇所あり」の上で修繕を行った場合、「不良箇所なし」よりも採点が上回っていたため是正した。

### (3) 財務状況

収支が5%以上黒字の場合にのみ減点していたが、赤字の場合も経営に課題がある状態と考えられるため「水準を大きく上回る」評価である「5点」がつかないように変更した。

(4) 職員の労働条件の保護

これまで独自の評価項目を設けていたが、全庁的なルールである「足立区 労働条件審査 主要チェックシート 28(自己確認チェックシート)」の内容を評価項目とした。

(5) 評価項目の追加

「AED」「不審者・不審物等対応訓練」「30分ルール」「事故発生後の対応」の小項目を追加し、適切な対応を行っている指定管理者の評価を高められるようにした。

**7 令和4年度及び令和5年度評価の実施比較**

- (1) 令和4年度の評価でA+となった園はなく、「A、A-、B+」の3段階に集中していたが、令和5年度は評価の見直しに伴い、一部の園では昨年度よりも高い評価を獲得した。
- (2) 令和4年度から令和5年度へ評価ランクが上がった園が10園あり、「A+、A、A-、B+」の4段階に分散する結果となった。
- (3) 新田さくら保育園については、昨年度運営を行っていた社会福祉法人じろう会を対象に評価を行ったが、必要な資料の提出がなく、昨年度に引き続き「評価不能」という判断となった(次年度からは現在のライクキッズ株式会社を対象に評価実施)。

令和4年度		令和5年度 (4年度実績の評価)		施設名
A	2園	⇒	A+(1ランク上昇)	1園 千住
		⇒	A(現状維持)	1園 竹の塚
A-	10園	⇒	A+(2ランク上昇)	1園 水神橋
		⇒	A(1ランク上昇)	6園 やよい、さつき、 せきや、青井、興本、 新田おひさま
		⇒	A-(現状維持)	2園 伊興大境、竹の塚北
		⇒	B+(1ランク下降)	1園 青井おひさま
B+	3園	⇒	A-(1ランク上昇)	2園 谷在家、五反野
		⇒	B+(現状維持)	1園 東保木間

※ 新田さくら保育園は除く

## 8 評価委員会での主な意見と対応等

	評価委員会からの意見	対応策
1	担当課の現地確認の際に対象年齢に合っていない玩具の使用が認められた園が複数あった。	一部の園で1歳児に対し磁石を使用した玩具を用いていることが確認できた。その場で園に対し指摘し、対象年齢に合った玩具を使用するよう助言したが、再度文書指導した上で改めて現地調査を実施し、改善状況を確認する。
2	評価のための資料の内、マニュアル類について園によって添付の有無が異なっていたが、これでは評価項目の一部が委員会で判断することができない。	資料に添付がないマニュアル類について、担当課の現地調査で確認していたが、その結果を委員に示していなかった。次年度からリストを作成し、マニュアルの有無や内容の適正さ等について委員が確認できるよう改める。

## 9 施設名称及び評価結果等（満点330点・評価点順）

No.	施設名称 指定管理料（円）	指定管理者 代表者名	評価点	評価点/満点 ×100（%）	前年度	評価
1	千住保育園 187,620,774	(福) 太陽会 北守 正子	299	90.6%	A	A+
2	水神橋保育園 192,823,040	(福) 聖華 白須賀 まり子	298	90.3%	A-	A+
3	新田おひさま保育園 117,045,994	(福) 太陽会 北守 正子	293	88.8%	A-	A
4	せきや保育園 148,858,597	(福) 桑の実会 濱野 賢一	285	86.4%	A-	A
5	さつき保育園 219,603,494	(福) 江北会 野口 澄夫	282	85.5%	A-	A
	青井保育園 219,094,821	(福) からしだね 春見 静子	282	85.5%	A-	A
7	竹の塚保育園 197,831,967	(株) ネッセスタイルケア 滝山 真也	278	84.2%	A	A
8	興本保育園 181,613,383	(福) 太陽会 北守 正子	276	83.6%	A-	A
9	やよい保育園 201,560,447	(福) 博友会 川下 勝利	275	83.3%	A-	A
10	谷在家保育園 149,372,149	(福) わかば会 石川 美和子	273	82.7%	B+	A-
11	竹の塚北保育園 207,099,820	(福) 三樹会 細野 智樹	272	82.4%	A-	A-
12	五反野保育園 218,537,306	(株) 日本保育サービス 坂井 徹	261	79.1%	B+	A-
13	伊興大境保育園 177,145,062	(福) 高砂福祉会 篠塚 弘子	255	77.3%	A-	A-
14	東保木間保育園 163,804,234	(福) 高砂福祉会 篠塚 弘子	244	73.9%	B+	B+
15	青井おひさま保育園 77,956,808	ライクキッズ(株) 岡本 拓岳	241	73.0%	A-	B+
	新田さくら保育園 128,535,205	(福) じろう会 久芳 敬裕			評価 不能	評価 不能

(別添資料1「令和5年度 足立区子ども施設指定管理者評価委員会結果資料」参照)

※ 新田さくら保育園については、令和5年度より指定管理者がライクキッズ株式会社に変更されているが、令和4年度の評価は、前指定管理者である社会福祉法人じろう会に対し実施したものの、資料の提出がなく、現地調査も拒否しているため評価不能

### 10 今後の方針

- (1) 今回の評価結果を指定管理者に説明し、今後の業務改善につなげていくよう指導する。また、指導内容については改めて現地を訪問し、改善状況を確認する。
- (2) 区ホームページに令和6年2月に掲載する。

件名	<b>区立保育園・こども園における小破修繕の実績について</b>																									
所管部課名	子ども家庭部子ども施設運営課																									
内容	<p>区立保育園・こども園における令和元年度から令和4年度までの小破修繕について、予算額、決算額及び工事件数等の実績を報告する。</p> <p><b>1 予算額、決算額等</b></p> <p>(1) 事業者工事件数は、コロナ禍での登園自粛や、園の活動が制限されたこと等により、それに伴う設備の故障等が少なかったことから、令和2年度は令和元年度と比較して減少した（下表参照）。</p> <p>(2) 各年度の予算は、前年度の工事実績に基づき算定し、増加傾向にあった。令和4年度は、予定していた工事を施設営繕部が施工した工事に合わせて実施できたため、予算額は前年度比減となった。</p> <p>(3) 令和4年度の事業者工事件数は、コロナ禍においても園の活動が活発になってきたこと等が影響して、小破修繕の件数が増加した。</p> <p>小破修繕対応実績</p> <table border="1" data-bbox="456 1128 1369 1429"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額 (千円)</th> <th>決算額 (千円)</th> <th>事業者 工事件数</th> <th>区職員 対応件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>59,691</td> <td>55,050</td> <td>230</td> <td>1,305</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>79,210</td> <td>60,229</td> <td>188</td> <td>1,415</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>82,715</td> <td>72,526</td> <td>212</td> <td>1,261</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>67,810</td> <td>59,169</td> <td>273</td> <td>1,676</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 主な小破修繕の内容</b></p> <p>(1) 事業者工事</p> <p>ア 排水管詰まり修繕 軽い詰まりであれば区職員が作業を行うが、作業を行えない場合は専門業者に依頼している。</p> <p>イ 天井型扇風機修繕 古いものについては故障があった際に随時交換を行っている。</p> <p>ウ 空調機修繕 年式が古いものについては、入替時期を考慮しながら修理を行っている。</p> <p>エ プール修繕 新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたため、令和4年度は多く実施している。</p>		予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業者 工事件数	区職員 対応件数	令和元年度	59,691	55,050	230	1,305	令和2年度	79,210	60,229	188	1,415	令和3年度	82,715	72,526	212	1,261	令和4年度	67,810	59,169	273	1,676
	予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業者 工事件数	区職員 対応件数																						
令和元年度	59,691	55,050	230	1,305																						
令和2年度	79,210	60,229	188	1,415																						
令和3年度	82,715	72,526	212	1,261																						
令和4年度	67,810	59,169	273	1,676																						

オ 雨漏り修繕

通常の雨では漏れてこないが、風が強い荒天時に発見されることが多く、園より連絡があった際に緊急対応している。

(2) 区職員対応

手洗場の水漏れやトイレの詰まり、建具等の不具合により園運営に支障をきたすような故障があった際は、現地確認により即時に対応している。区職員が対応できるものは、子ども施設運営課の職員が工事を実施している。

3 今後の方針

	現状		今後
小破修繕について	ア 即時対応を行っている。 イ 給湯器・空調機等の機器更新は、主に故障のタイミングで実施している。		ア 従来通り、即時対応を行う。 イ 給湯器・空調機等の機器更新は耐用年数等を勘案し、更新を検討する。
改善要望について	ア 主に各園からの修理依頼をもとに修繕を行っている。	⇒	ア 修理依頼のみではなく、園職員からの改善要望を定期的に聴きながら、修繕や改善を行っていく。
予算残額について	ア 不定期に予算残額を確認している。		ア 月末等、確認時期を定めることで、予算残額を定期的に把握し、予算流用処理等を的確に行う。

# 子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

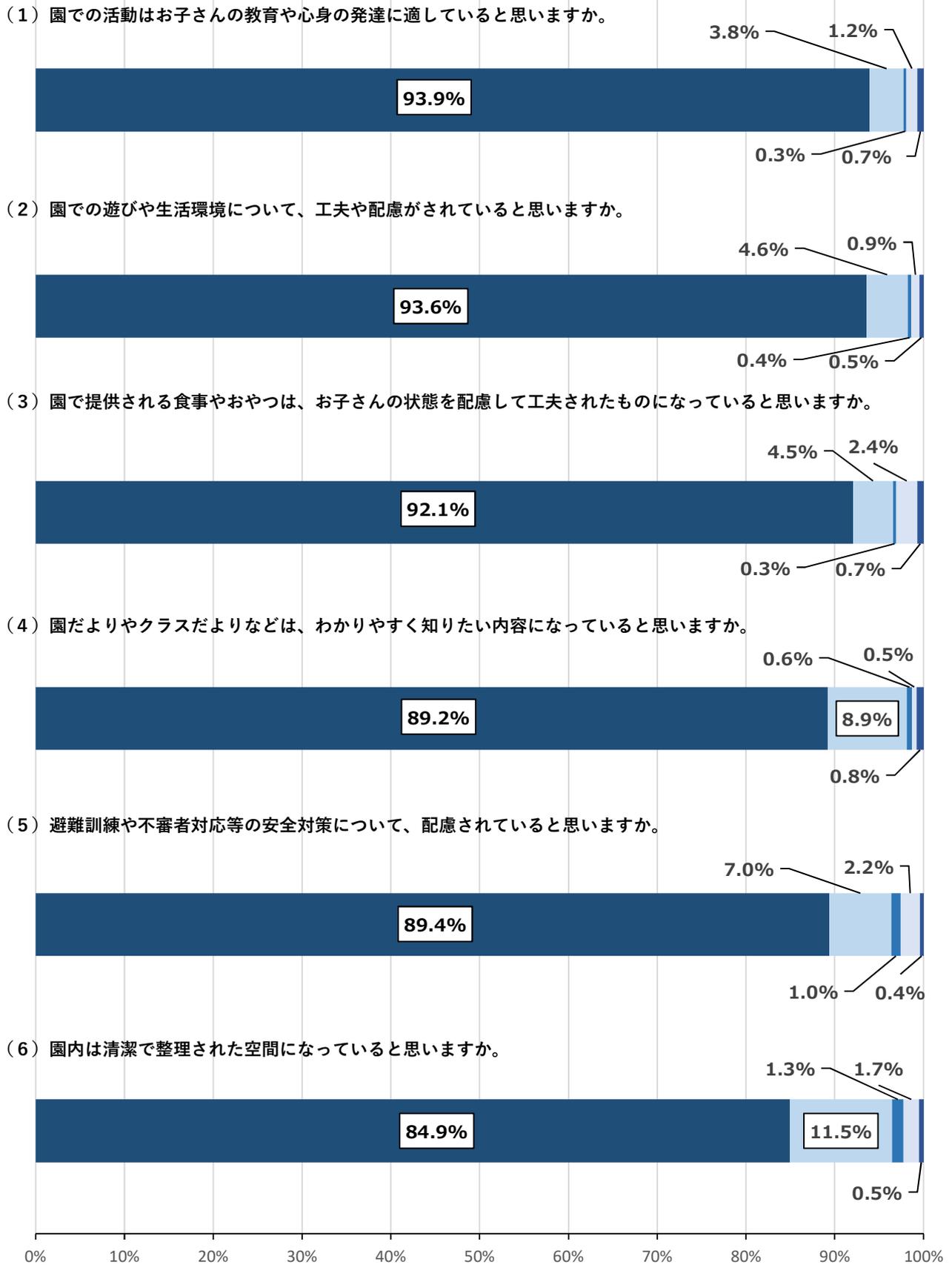
令和6年1月24日

件名	区立園における「園運営に関する保護者アンケート」の実施結果について
所管部課名	子ども家庭部子ども施設運営課
内容	<p>区立保育園・認定こども園の「園運営に関する保護者アンケート」の実施結果について以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 実施概要</b></p> <p>(1) 実施時期 令和5年10月上旬～中旬</p> <p>(2) 対象園数 区立園22園で実施（第三者評価を受けた8園は対象外）</p> <p>(3) 対象者数 区立園児保護者1,835人</p> <p>(4) 回答率 78.7%</p> <p><b>2 結果概要（詳細はP13～17参照）</b></p> <p>※ アンケートは、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「わからない」の4択で回答</p> <p>(1) 「<u>そう思う</u>」と回答した保護者の割合の全園平均は、<u>全ての項目で80%を超えた</u>。しかし、2項目を除き昨年度より低い評価となった。</p> <p>(2) 特に、「園での様子を教えてほしい」「職員と話がしたいが忙しそう」等の意見が多く、『園での様子などをわかりやすく知らせているか』や『子育ての悩み等の相談のしやすさ』については、昨年度より3ポイント以上低い結果となった。</p> <p>(3) 安全対策については、まだ多くのご意見はあるが、外壁の改修や通用門の電子錠設置等を順次対応してきた結果、昨年度より1.5ポイント上回る評価となった。</p>

## 園運営アンケート結果

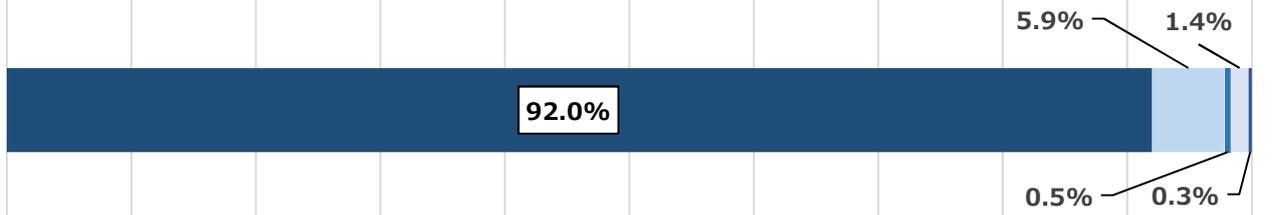
■ そう思う    ■ どちらともいえない    ■ そう思わない    ■ わからない    ■ その他未記入

### 1 保育内容

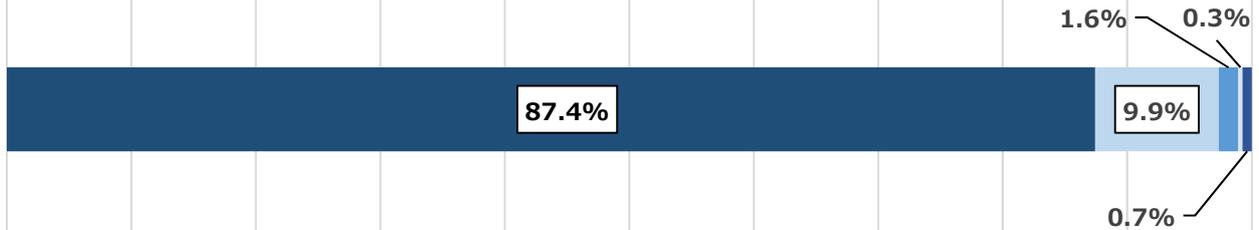


## 2 保育者のかかわり

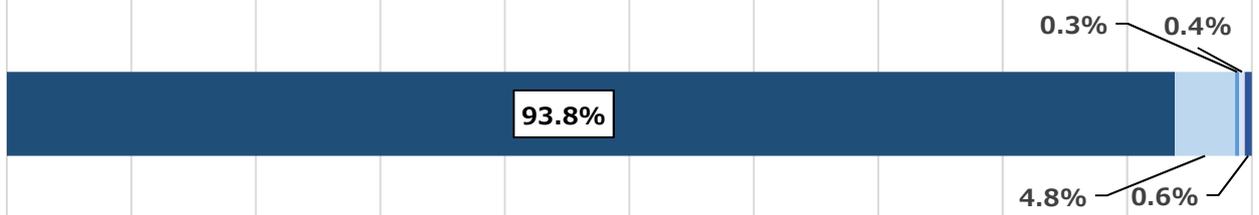
(1) 保育者は、子どもの発達や性格、長所、その時の子どもの気持ちを大切にされたかかわりをしていると思いますか。



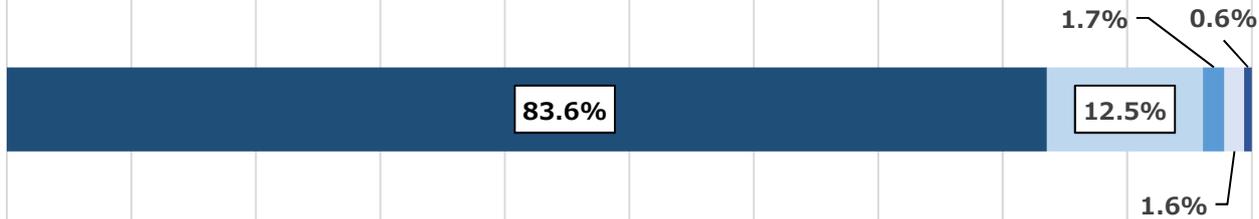
(2) 保育者は、園での活動や子どもの様子などを、わかりやすく知らせていると思いますか。



(3) 保育者の言葉遣いや態度、身だしなみなどは適切だと思いますか。



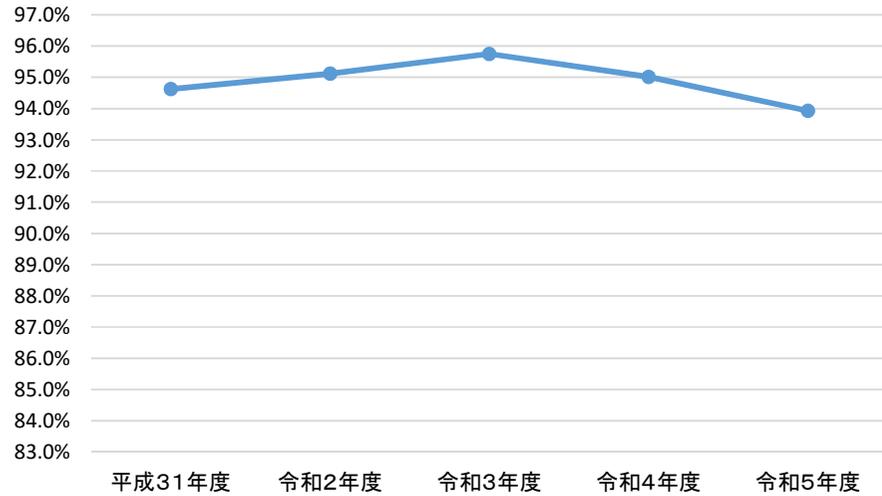
(4) お子さんの様子や子育ての悩みなどについて、職員と話したり相談したりしやすいと思いますか。



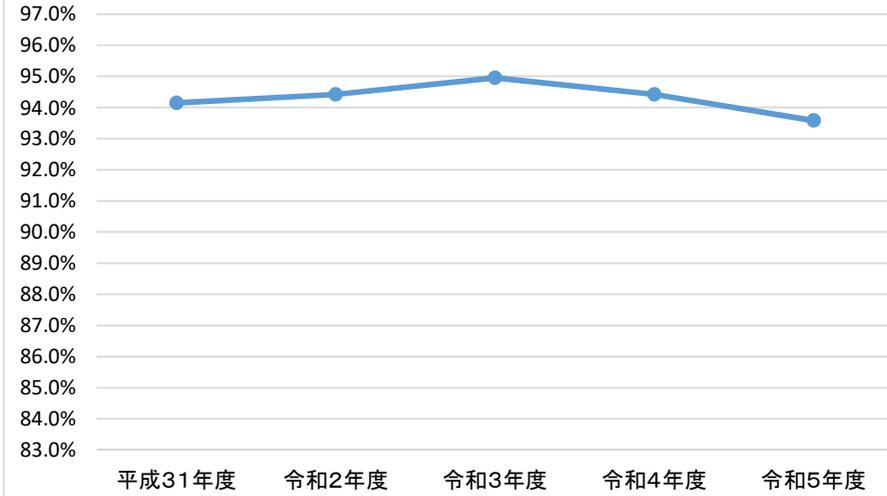
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【「そう思う」と回答した保護者の割合の経年変化】

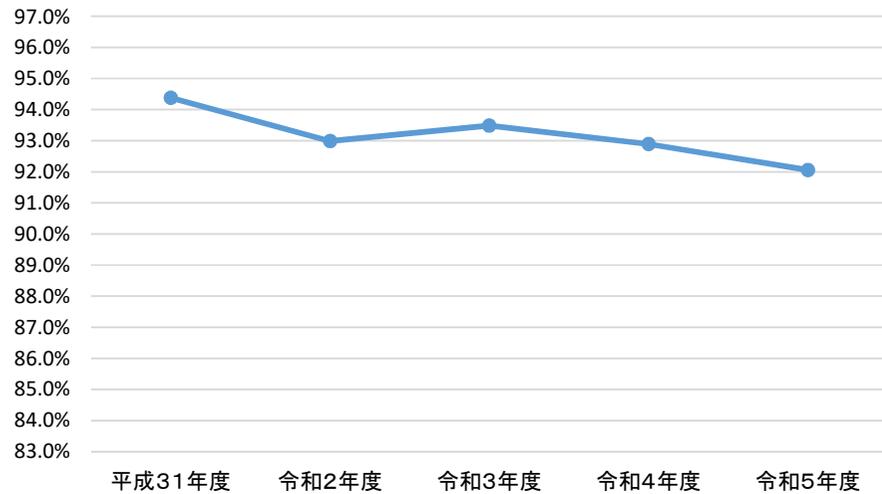
【1-(1)】園での活動はお子さんの教育や心身の発達に適していると思いますか。



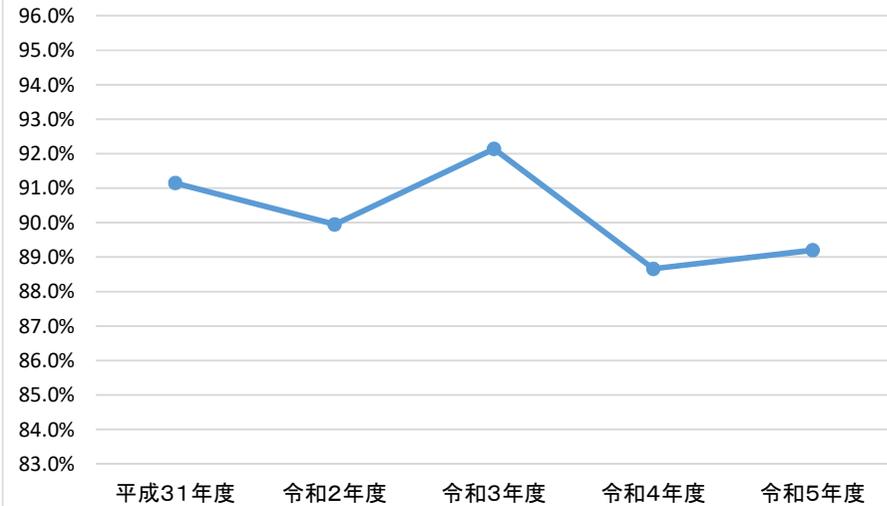
【1-(2)】園での遊びや生活環境について、工夫や配慮がされていると思いますか。



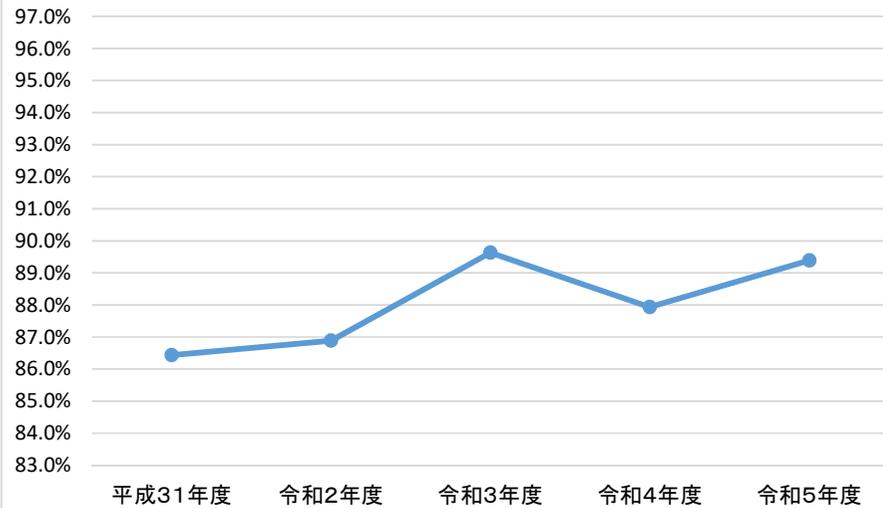
【1-(3)】園で提供される食事やおやつは、お子さんの状態を配慮して工夫されたものになっていると思いますか。



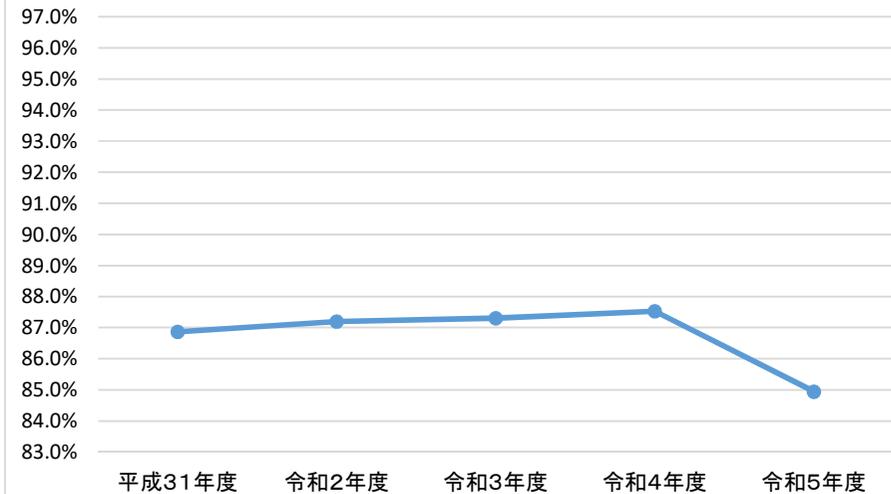
【1-(4)】園だよりやクラスだよりなどは、わかりやすく知りたい内容になっていると思いますか。



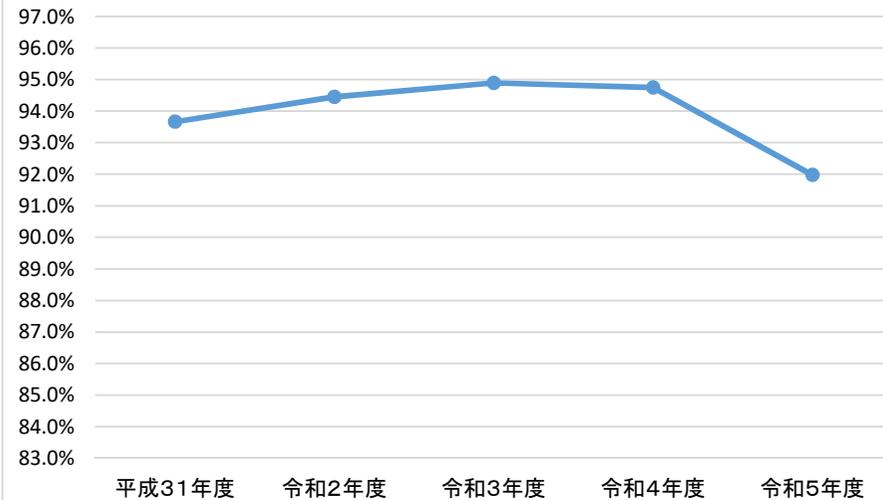
【1-(5)】 避難訓練や不審者対応等の安全対策について、  
配慮されていると思いますか。



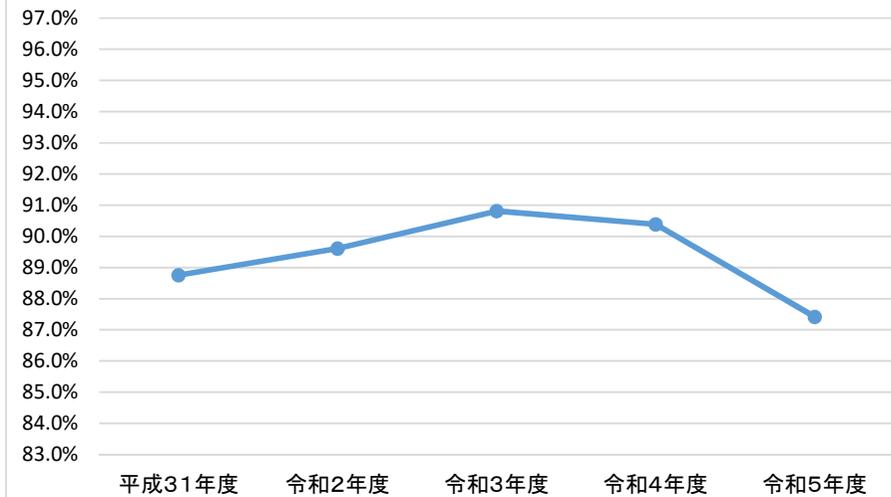
【1-(6)】 園内は清潔で整理された空間に  
なっていると思いますか。



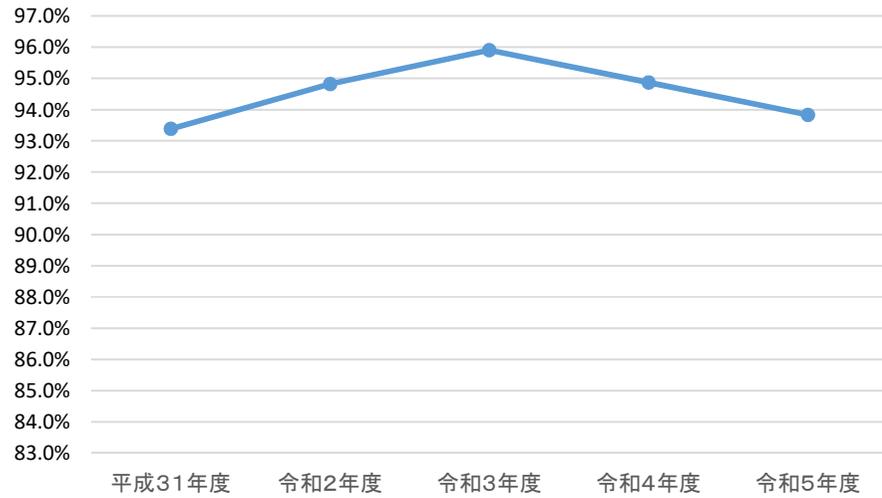
【2-(1)】 保育者は、子どもの発達や性格、長所、その時の子どもの気  
持ちを大切にされたかわりをしていると思いますか。



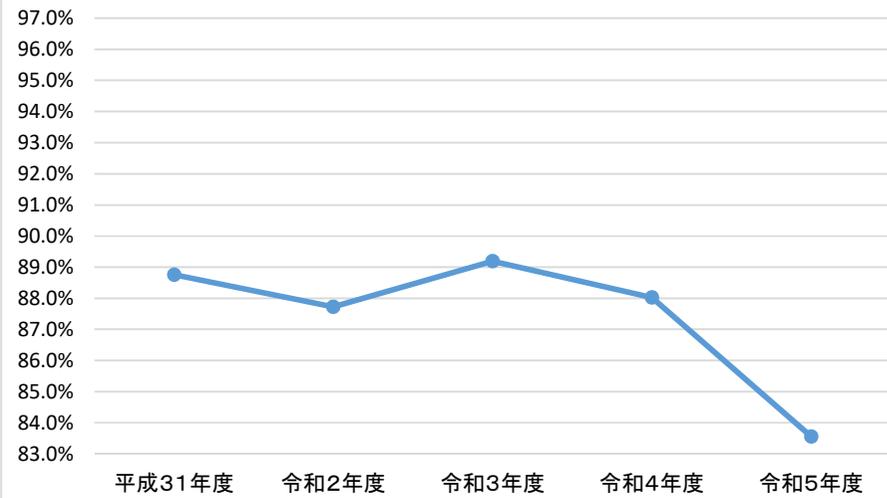
【2-(2)】 保育者は、園での活動や子どもの様子などを、  
わかりやすく知らせていると思いますか。



【2-(3)】 保育者の言葉遣いや態度、身だしなみなどは適切だと思いますか。



【2-(4)】 お子さんの様子や子育ての悩みなどについて、職員と話したり相談したりしやすいと思いますか。



件名	<b>足立区待機児童解消アクション・プランの改定について</b>																																																				
所管部課名	子ども家庭部 私立保育園課、子ども政策課、 子ども施設指導・支援課、子ども施設運営課、 子ども施設入園課																																																				
内容	<p>「足立区待機児童解消アクション・プラン」（以下、計画という。）の改定にあたり、待機児童ゼロの継続と定員の空き対策の見直しを行った。また、前計画（令和5年1月）より課題として取り組んでいる、年度途中の待機児童対策について、10月時点で行った調査と分析の結果を基に、今後、対応策を実施していく。</p> <p><b>1 保育需要予測の更新（「別添資料2」P8～11参照）</b></p> <p>社会状況の変化を適切に反映するため、前計画の算定方法に令和5年度実績等を反映して、保育需要予測を更新した。</p> <p>更新の結果、令和6年度に必要な保育定員数は確保できている。</p> <p>◇ 令和5年度実績等反映後の保育需要数と保育定員数の見込み</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="497 1160 1279 1617"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">実 績</th> <th colspan="3">見 込 み</th> </tr> <tr> <th colspan="3">令和5年4月1日</th> <th colspan="3">令和6年4月1日</th> </tr> <tr> <th>3～5 歳児</th> <th>1・2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3～5 歳児</th> <th>1・2 歳児</th> <th>0 歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保育需要数 (A)</td> <td>7,719</td> <td>5,499</td> <td>1,059</td> <td>7,709</td> <td>5,468</td> <td>1,108</td> </tr> <tr> <td colspan="3">14,277</td> <td colspan="3">14,285</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保育定員数 (B)</td> <td>9,278</td> <td>5,917</td> <td>1,467</td> <td>8,975</td> <td>5,841</td> <td>1,462</td> </tr> <tr> <td colspan="3">16,662</td> <td colspan="3">16,278</td> </tr> <tr> <td>過不足 (B)-(A)</td> <td>+1,559</td> <td>+418</td> <td>+408</td> <td>+1,266</td> <td>+373</td> <td>+354</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 待機児童ゼロの継続と定員の空き対策（「別添資料2」P13～31参照）</b></p> <p>保育需要の状況に応じて、定員の空き対策や小規模保育・家庭的保育（保育ママ）の利用促進などの多様な保育の利用促進等の取組について更新、調整を行った。</p> <p><b>(1) 区立保育施設の入所定員抑制（「別添資料2」P17参照）</b> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">見直し</span></p> <p>令和5年度の保育需要実績等を踏まえて、前計画で設定した令和6年度までの抑制計画を見直した。</p>		実 績			見 込 み			令和5年4月1日			令和6年4月1日			3～5 歳児	1・2 歳児	0 歳児	3～5 歳児	1・2 歳児	0 歳児	保育需要数 (A)	7,719	5,499	1,059	7,709	5,468	1,108	14,277			14,285			保育定員数 (B)	9,278	5,917	1,467	8,975	5,841	1,462	16,662			16,278			過不足 (B)-(A)	+1,559	+418	+408	+1,266	+373	+354
	実 績			見 込 み																																																	
	令和5年4月1日			令和6年4月1日																																																	
	3～5 歳児	1・2 歳児	0 歳児	3～5 歳児	1・2 歳児	0 歳児																																															
保育需要数 (A)	7,719	5,499	1,059	7,709	5,468	1,108																																															
	14,277			14,285																																																	
保育定員数 (B)	9,278	5,917	1,467	8,975	5,841	1,462																																															
	16,662			16,278																																																	
過不足 (B)-(A)	+1,559	+418	+408	+1,266	+373	+354																																															

◇ 区立保育施設（直営園）の入所定員抑制予定数（令和6年度まで）

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和5年までの抑制内容	0	-25	-78	-68	-84	-63	-318
令和6年の抑制内容	0	4	6	-5	-16	-32	-43
累 計	0	-21	-72	-73	-100	-95	-361

**（2）私立保育施設の定員変更協議（「別添資料2」P20～21 参照）** 見直し

認可保育所の入所率が改善していること等から、経営支援としての利用定員変更は令和5年度で終了する。

今後は、各施設からの要望に基づき、地域の保育需要等を総合的に勘案して区からも提案を行う等、認可定員の増減にかかる協議を行っていく。

**（3）小規模保育・家庭的保育（保育ママ）の利用促進（「別添資料2」P23～25 参照）** 継続

4月時点で空きが多数発生している小規模保育・家庭的保育について、サービスの魅力向上等により利用促進を図り、利用者の多様なニーズ等に対応できるようにすることで需給のミスマッチを解消していく。

**3 年度途中の利用（待機）状況と対応策（「別添資料2」P32～35 参照）**

年度途中の利用（待機）状況を把握するため、10月1日時点の待機児童数を調査するとともに、対応策の効果検証を行っている。

**（1）10月1日時点の待機児童発生状況（「別添資料2」P33 参照）**

調査・分析

◇ 年齢別待機児童数

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	総計
令和4年度	35	5	1	0	0	0	41
令和5年度	37	13	0	0	0	0	50

ア いずれの年齢も年度途中の保育需要の増加数は昨年度と同程度だった。

イ 1歳児は4月時点の保育需要数が増加したため、空きが少なくなり、年度途中の待機児童が増加した。

ウ 0歳児は4月、10月いずれも保育需要数は昨年度より減少したが、入所を希望している児童の所在と施設の空き状況が一致しなかったため、年度途中の待機児童が減少しなかった。

**(2) 年度途中の待機児童対策の取り組み状況（「別添資料2」P34～35参照）** **実施中の対応策**

ア ベビーシッター利用支援

令和5年5月より、東京都のベビーシッター利用支援事業（待機児童支援）の活用を開始

イ 保育事業者へ入所保留者の発生状況等を情報発信

施設種別ごとに、年度途中の施設の受入れ人数変更に要する期間を考慮した上で、区から保育事業者へ、地域・年齢ごとの入所保留者数の情報を発信

ウ 入所不承諾となった保護者への情報提供の強化

令和5年度より不承諾通知に、区のホームページに記載した案内（各施設の最新の募集状況や希望園変更のオンライン手続き）を添付

**(3) 今後の取組（「別添資料2」P35参照）**

**今後の対応策**

ア 令和6年度の保育定員に関する取組

区立保育施設の入所定員抑制の見直しや、私立認可保育所の定員変更協議において、年度途中の利用（待機）状況を踏まえて、定員調整を実施する。

イ 今後の取組方針

次年度以降も、継続して年度途中の利用（待機）状況を確認し、それを踏まえて既存の保育施設を最大限活用するための取組を検討する。

件名	保育士奨学金返済支援事業補助金の制度改正について																										
所管部課名	子ども家庭部私立保育園課																										
内容	<p>保育士の確保・定着を目的とした「保育士奨学金返済支援事業」について、令和5年度の返済分から補助率と補助上限額を見直し、制度内容を拡充するので報告する。</p> <p><b>1 改正目的</b>          民営保育施設における保育士人材の確保とともに、定着（離職防止）対策を強化することで、保育の質の向上を図る。</p> <p><b>2 改正内容</b></p> <table border="1" data-bbox="491 801 1425 1111"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助期間</td> <td>上限なし</td> <td>上限なし</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>年間返済額の <u>1/2</u></td> <td>年間返済額の <u>全額</u></td> </tr> <tr> <td>補助上限</td> <td><u>年間一律</u> 10万円</td> <td>勤続5年未満：年間10万円 勤続5年以上：年間15万円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 制度改正による改善点</b></p> <p>(1) 補助率（年間返済額の1/2）を撤廃し、利用者の自己負担額が減額されることで、<u>本制度を継続利用するメリットを高め、保育士の定着と離職防止</u>を図る。</p> <p>(2) 勤続5年目以上の利用者にインセンティブを設け、補助上限額を15万円とすることで、<u>保育士の平均勤続年数（現在、平均勤続5年未満）を引上げ、保育の質を向上</u>させる。</p> <p><b>【例】年間返済額が15万円の場合（利用者の8割以上が該当）</b></p> <table border="1" data-bbox="472 1585 1425 1805"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年額</th> <th rowspan="2">改正前</th> <th colspan="2">改正後</th> </tr> <tr> <th>勤続5年未満</th> <th>勤続5年以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金額</td> <td>7.5万円</td> <td>10万円</td> <td>15万円</td> </tr> <tr> <td>自己負担額</td> <td>7.5万円</td> <td>5万円</td> <td><u>0円</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>4 今後の方針</b>          改正後の制度内容及び他の保育士確保・定着施策等についての周知方法を強化し、さらなる事業効果の向上を図っていく。</p>	区分	改正前	改正後	補助期間	上限なし	上限なし	補助率	年間返済額の <u>1/2</u>	年間返済額の <u>全額</u>	補助上限	<u>年間一律</u> 10万円	勤続5年未満：年間10万円 勤続5年以上：年間15万円	年額	改正前	改正後		勤続5年未満	勤続5年以上	補助金額	7.5万円	10万円	15万円	自己負担額	7.5万円	5万円	<u>0円</u>
区分	改正前	改正後																									
補助期間	上限なし	上限なし																									
補助率	年間返済額の <u>1/2</u>	年間返済額の <u>全額</u>																									
補助上限	<u>年間一律</u> 10万円	勤続5年未満：年間10万円 勤続5年以上：年間15万円																									
年額	改正前	改正後																									
		勤続5年未満	勤続5年以上																								
補助金額	7.5万円	10万円	15万円																								
自己負担額	7.5万円	5万円	<u>0円</u>																								

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和6年1月24日

件名	<b>令和6年4月保育施設利用申込受付状況及び保育コンシェルジュ利用状況について</b>																																																														
所管部課名	子ども家庭部子ども施設入園課																																																														
内容	<p>令和6年4月保育施設（認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ)）利用申込みの受付状況及び保育コンシェルジュの利用状況について、以下のとおり報告する。</p>																																																														
	<p><b>1 令和6年4月保育施設利用申込受付状況</b></p>																																																														
	<p>(1) 利用申込数 (人)</p>																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="451 741 834 846">申込状況</th> <th data-bbox="834 741 986 846">年月 令和5年 4月入所</th> <th data-bbox="986 741 1137 846">令和6年 4月入所</th> <th data-bbox="1137 741 1254 846">増減</th> <th data-bbox="1254 741 1390 846">前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="451 846 834 913">利用申込(受付期間中)【A】</td> <td data-bbox="834 846 986 913">2,525</td> <td data-bbox="986 846 1137 913">2,598</td> <td data-bbox="1137 846 1254 913">73</td> <td data-bbox="1254 846 1390 913">102.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 913 531 1211" rowspan="4">内 訳</td> <td data-bbox="531 913 834 987">オンライン申請(※2)</td> <td data-bbox="834 913 986 987">1,467</td> <td data-bbox="986 913 1137 987">1,841</td> <td data-bbox="1137 913 1254 987">374</td> <td data-bbox="1254 913 1390 987">125.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 987 834 1061">区役所窓口</td> <td data-bbox="834 987 986 1061">805</td> <td data-bbox="986 987 1137 1061">624</td> <td data-bbox="1137 987 1254 1061">△181</td> <td data-bbox="1254 987 1390 1061">77.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1061 834 1135">郵送</td> <td data-bbox="834 1061 986 1135">126</td> <td data-bbox="986 1061 1137 1135">16</td> <td data-bbox="1137 1061 1254 1135">△110</td> <td data-bbox="1254 1061 1390 1135">12.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1135 834 1211">区外からの申請</td> <td data-bbox="834 1135 986 1211">127</td> <td data-bbox="986 1135 1137 1211">117</td> <td data-bbox="1137 1135 1254 1211">△10</td> <td data-bbox="1254 1135 1390 1211">92.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="451 1211 834 1279">審査継続分【B】</td> <td data-bbox="834 1211 986 1279">1,018</td> <td data-bbox="986 1211 1137 1279">1,027</td> <td data-bbox="1137 1211 1254 1279">9</td> <td data-bbox="1254 1211 1390 1279">100.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="451 1279 834 1346">先行利用調整申込【C】</td> <td data-bbox="834 1279 986 1346">125</td> <td data-bbox="986 1279 1137 1346">117</td> <td data-bbox="1137 1279 1254 1346">△8</td> <td data-bbox="1254 1279 1390 1346">93.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="451 1346 834 1413">利用申込合計【A+B+C】</td> <td data-bbox="834 1346 986 1413">3,668</td> <td data-bbox="986 1346 1137 1413">3,742</td> <td data-bbox="1137 1346 1254 1413">74</td> <td data-bbox="1254 1346 1390 1413">102.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="451 1413 834 1487">募集人数</td> <td data-bbox="834 1413 986 1487">3,714</td> <td data-bbox="986 1413 1137 1487">3,786</td> <td data-bbox="1137 1413 1254 1487">72</td> <td data-bbox="1254 1413 1390 1487">101.9%</td> </tr> </tbody> </table>						申込状況		年月 令和5年 4月入所	令和6年 4月入所	増減	前年比	利用申込(受付期間中)【A】		2,525	2,598	73	102.9%	内 訳	オンライン申請(※2)	1,467	1,841	374	125.5%	区役所窓口	805	624	△181	77.5%	郵送	126	16	△110	12.7%	区外からの申請	127	117	△10	92.1%	審査継続分【B】		1,018	1,027	9	100.9%	先行利用調整申込【C】		125	117	△8	93.6%	利用申込合計【A+B+C】		3,668	3,742	74	102.0%	募集人数		3,714	3,786	72	101.9%
	申込状況		年月 令和5年 4月入所	令和6年 4月入所	増減	前年比																																																									
	利用申込(受付期間中)【A】		2,525	2,598	73	102.9%																																																									
	内 訳	オンライン申請(※2)	1,467	1,841	374	125.5%																																																									
		区役所窓口	805	624	△181	77.5%																																																									
		郵送	126	16	△110	12.7%																																																									
		区外からの申請	127	117	△10	92.1%																																																									
	審査継続分【B】		1,018	1,027	9	100.9%																																																									
	先行利用調整申込【C】		125	117	△8	93.6%																																																									
利用申込合計【A+B+C】		3,668	3,742	74	102.0%																																																										
募集人数		3,714	3,786	72	101.9%																																																										
<p>(注)</p>																																																															
<p>【B】：10月～1月入所希望受付分のうち、待機のため令和6年4月の審査に継続するもの</p>																																																															
<p>【C】：小規模保育、保育ママの卒園児を対象とした先行申込</p>																																																															
<p>※1 上記人数は、転園、区外保育施設との併願を含む。</p>																																																															
<p>※2 受付期間中のオンライン申請利用率（区外からの申請を除く）は74.2%と前年に比べ13.0ポイント増加した。</p>																																																															

## (2) 年齢別申込数 (人)

年度	年齢						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
令和5年度	1,015	1,626	427	478	84	38	3,668
令和6年度	961	1,702	494	458	82	45	3,742
増減	△54	76	67	△20	△2	7	74

未就学児童の人口は減少している（下表のとおり）が、1歳・2歳の申込数が増加したため、育児休業明けの保育ニーズが増加していることなどが考えられる。

## 【参考】クラス年齢別人口（前年12月1日時点） (人)

年度	クラス年齢					
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
令和5年度	2,744	4,318	4,302	4,368	4,680	4,777
令和6年度	2,603	4,113	4,276	4,248	4,321	4,690
増減	△141	△205	△26	△120	△359	△87

## 2 保育コンシェルジュ利用状況

## (1) 利用延人数（4月1日～12月5日） (人)

種別	個別相談	内 訳			説明会	合計
		区役所	オンライン	出張相談 (※)	オンライン	
令和4年	2,474	1,993	255	226	454	2,928
令和5年	2,491	1,915	331	245	659	3,150
増減	17	△78	76	19	205	222
前年比	100.7%	96.1%	129.8%	108.4%	145.2%	107.6%

※ 子育てサロンへの出張（計88回）及びイベント（しょうぶまつり&世界の食広場）への出展

ア 利用延人数のうちオンライン（個別相談及び説明会）による利用が31.4%（前年比7.2ポイント増）であり、オンラインの利用者が増加している。

イ 子育てやお子さんの発達に関する悩みなど保育サービス以外の相談が48件あった。

ウ 利用者アンケート（令和5年1～3月実施）で、相談が役に立ったと答えた方の割合は前年に引き続き100%であった。

### 3 今後の方針

#### (1) 利用調整の結果

令和6年2月9日頃に申請者へ通知する。利用調整後、追加利用調整を実施する。

#### (2) 保育コンシェルジュ

入所保留となったご家庭を対象にオンライン説明会を開催（令和6年2月13日、15日）するとともに、4月からの預け先を確保できるよう相談に応じ、各ご家庭のニーズに合った情報提供や提案を行っていく。